

参加費
無料

第21回研究カンファレンス（個の医療研究会共催）

消化器と幹細胞 ～次世代の抗がん治療を目指して～

京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座

教授 妹尾 浩 先生

8/25 (木) 18時00分～19時00分

- ◆ 場 所：神鋼記念病院 呼吸器センター 5階 大会議室
（神戸市中央区脇浜町 1-4-47 TEL：078-261-6711）
- ◆ 参加方法：当日直接会場にお越しください
- ◆ そ の 他：日本医師会生涯教育講座 1単位申請しています
- ◆ お問合せ先：神鋼記念会総合医学研究センター
担当：兒山 TEL078-261-6711（病院代表）

【講演内容】

消化器領域の診療は、診断、治療デバイスの進歩、分子標的薬、免疫抑制薬の普及、ウイルス性肝炎の薬物療法など、急激に進歩しています。他分野でも、免疫チェックポイント阻害薬の登場や、iPS細胞を用いた再生医療の試みなど、昨日まで研究の世界に留まっていたコンセプトが、次々に実現しつつあります。

そのようななかで、近未来につながる（かもしれない）領域のひとつとして、消化器癌と幹細胞の関わり、治療への応用について紹介します。

Info
1

新入職医師のご紹介

膠原病リウマチ科
医長

西田 美和
MIWA NISHIDA



神戸大学 平成19年卒業
・日本内科学会認定内科医
・リウマチ専門医

Message

神戸大学医学部附属病院から参りました。リウマチ専門医として、少しでも地域の先生方のお力になれるよう努めて参ります。宜しくお願い致します。

Medical News

2016年7月
Vol.109

Shinko
Hospital

Contents

- *特集 [神鋼記念病院
整形外科のご紹介]
- *感染症科医のつぶやき
- *開業医探訪
「のぶさわ内科医院」
- *講演会のご案内
- *おしらせ
・新人職医師のご紹介

神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して、皆様に愛される病院を目指します。

基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47
TEL：078-261-6711（代表）
FAX：078-261-6726
URL：http://www.shinkohp.or.jp/
発行責任者：理事長 山本 正之
編集責任者：神鋼記念病院広報委員長 山神 和彦

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院

検索

<http://www.shinkohp.or.jp/>

神鋼記念病院 Medical News 2016

7

整形外科のご紹介 2016年4月より新体制になりました

はじめに

整形外科は、骨・関節を対象とする診療科です。具体的には頭部・顔面以外の骨、つまり「首から下の骨と関節」を扱います。筋肉や靭帯などの軟部組織も整形外科の担当です。

特に、保存的治療で改善しない方で手術を必要とする患者さんを中心に診療しています。広く一般に患者さんを受け入れています。最近では地域医療連携を密にし、兵庫県下の開業医の先生と相談の上、紹介を受けて治療方針を決めています。

治療終了後にはご紹介いただいた先生の下で再び経過を診ていただくようにし、問題が起こった時にはいつでも当科への受診や救急受診が可能な体制を取っています。

治療内容として、病名も皆さまに馴染みが深い、骨折、脱臼、変形性関節症、腰椎椎間板ヘルニア、骨粗鬆

症から頸椎症性脊髄症、肩腱板損傷、膝前十字靭帯損傷、手根管症候群、軟部腫瘍など多岐に渡ります。

当科は以下の4名体制で診療を行っております。

- ・西田 晴彦（平成4年卒）
- ・折井 久弥（平成6年卒）
- ・木村 豪太（平成12年卒）
- ・小島 昭司（平成23年卒）

手術件数増加のため初診外来は基本的には紹介状持参の方のみとさせて頂いています。以下簡単にご紹介をさせていただきます。

脊椎外科

2015年4月より脊椎脊髄外科指導医が赴任し、あらゆる脊椎疾患に対応できる体制を整えています。1,500症例を超える脊椎手術の執刀経験から、セカンドオピニオンを含め手術時期・適応などについて分かりやすくご説明いたします。

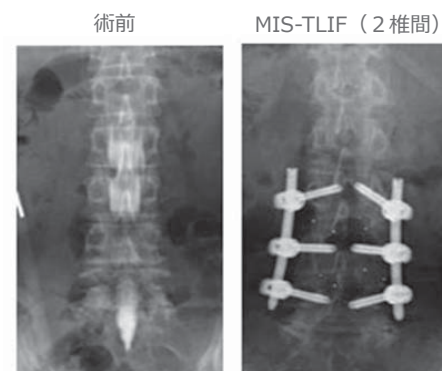


図1 背骨を正面から撮影したレントゲン画像



図2 股関節の前方アプローチ



整形外科 部長 西田 晴彦
Haruhiko Nishida

大阪医科大学を平成4年に卒業。
日本整形外科学会専門医、日本体育協会公認
スポーツドクター、日本リウマチ学会指導医
などの資格を持つ。

頸椎は、基本的に前方からの圧迫に対しては前方除圧固定術を、後方からの圧迫に対しては椎弓形成術（＋後方固定術）を行います。胸腰椎は後方からの除圧（顕微鏡使用）に加え、必要に応じてinstrumentationを使用した（矯正）固定術を加えます（図1）。手術翌日からリハビリを開始し、10～14日間ではほとんどの患者さんが退院となります。

関節外科

変形性関節症は変形が軽度の症例ではヒアルロン酸注入による保存加療を行います。保存加療に抵抗する変形が高度な症例では人工関節置換術の適応となります。手術前に自分

の血液を貯めておいて手術後も回収血を使用するため、ほとんどご本人以外の輸血は避けることが可能です。また、なるべく組織を痛めないように最小侵襲で手術を心がけています。

人工股関節は前方アプローチ(DAA)で、大腿筋膜張筋と大腿直筋の筋間から関節にアプローチするため全く筋切開は必要ありません(図2)。そのため股関節脱臼がほとんどなく、筋力低下も起こさないのが特徴です。

人工膝関節置換術はMidvastusアプローチで行っています。膝蓋骨の翻転がないため、以前の手術法と異なり膝の伸展機構への侵襲が軽減され、術後早期から脚挙げが可能で日常生活への復帰も早いです。人工関節再置換術の骨欠損に対する同種骨移植のための骨バンクも設置しています。

また、近年健康を目的としたスポーツを趣味とされている方が増加しています。スポーツ復帰を目的とされる場合で変形性膝関節症に対して内反膝が原因の場合は脛骨骨切り術も積極的にっており、自己の関節の温存を推奨しています(図3)。

外傷外科

2007年8月より救急センターも稼働し、手術を要する救急外傷も積極的に受け入れています。できるだけ早期から運動ができるように内固定手術を行っています。特に大腿骨頸部骨折は骨粗鬆症が存在する高齢者に多い骨折です。全身状態が許せば早期に手術して翌日よりリハビリを開始しています。

手術後は、リハビリを専門に行う病院に転院していただき、できるだけ生活機能を上げるようなシステムを作っています(急性期病院4病院、回復期病院15病院 2016年6月現在)。他機



図3 高位脛骨骨切術

骨遠位端骨折、鎖骨骨折、足関節骨折といった各種骨折も症例数は多く成績も良好です。

スポーツ整形外科

本年4月より、私西田 晴彦が部長に着任致しました。前任地の北野病院では関節鏡を用いた低侵襲の関節内手術を肩、膝を中心として行っていました。

肩は脱臼を繰り返す反復性肩関節脱臼に対して関節唇形成術、そして一般に五十肩と言われる中にも存在する腱板損傷に対して腱板修復術を行います(図4)。

膝はスポーツ愛好家がよく受傷する前十字靱帯損傷には膝屈筋腱を用いた靱帯再建術が代表的ですが、それ以外にも反復性膝蓋骨脱臼、足関節の捻挫を繰り返す不安定症に対する靱帯再建術を行っております。



左から 木村 豪太、小島 昭司、西田 晴彦、折井 久弥

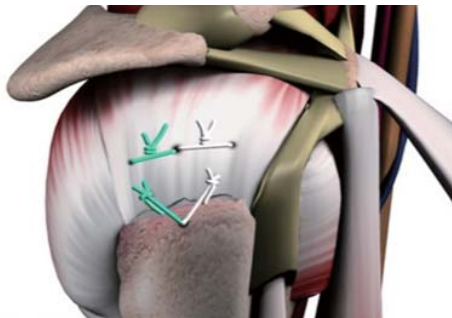


図4 鏡視下腱板修復術

リハビリテーション

現在スタッフは理学療法士7名、作業療法士7名、言語聴覚士2名から構成されています。施設基準では脳血管疾患、運動器、呼吸器、心大血管リハビリテーションの1を習得しています。整形外科の慢性疾患では術前にJOA scoreで評価し、術翌日よりリハビリを開始、退院時や転院時に再評価しています。

さいごに

当科ではチーム医療並びに地域連携を重視しています。カンファレンスでは医師、看護師、リハビリ、薬剤師、ケースワーカーと一緒に入院患者さん全員の治療方針について毎週話し合っています。

何かと不行き届きな事もありますが、今後とも引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

Infectious
Disease
Vol. 14

感染症科医のつぶやき

【抗菌薬の適正使用とは？】

Vol.9からVol.13まで、抗菌薬の適正使用のために注意すべき5つのポイントについてお話してきました。まとめると「使わなくてもいい時は使わない。使う時は状況に応じた第一選択薬を選び、投与量と治療期間を適切に設定する」こと、つまり「一例一例きちんと診断しきちんと治療する」ことが“抗菌薬の適正使用”であるということになります。

ここまで読まれた方の中には“抗菌薬の適正使用”に対するイメージが大きく変わった方もいらっしゃるのではないのでしょうか？「経口抗菌薬や狭域抗菌薬は気軽に使っても構わない。カルバペネムのような広域抗菌薬を使わないように注意さえすればよ

い。抗菌薬は出来るだけ少ない投与量で短期間しか使ってはいけない。同じ抗菌薬を2週間以上も使うなんてけしからん！」というのは大きな誤解です。長期間の広域抗菌薬治療が必要な然るべき根拠があれば、自信を持って広域抗菌薬を長期間使うべきです。大した根拠が無ければ、経口抗菌薬や狭域抗菌薬の短期間使用であっても控えなくてはならないのです。

虎の子の貯金を使うのは、奥様を説得できる然るべき根拠がある場合、必要十分な額に限られるのではないのでしょうか？虎の子の貯金を使う様に抗菌薬を大切に使って頂きたいと思います。

開業医探訪
inquires into a doctor
Vol.27

【内科・呼吸器科・外科】

のぶさわ内科医院

今回の開業医探訪は、JR摂津本山駅から徒歩9分、国道2号線沿いにある「のぶさわ内科医院」に訪問しました。

■ 診療を開始されてどれくらいになりますか？

2007年1月に前身である天川内科医院を継承し、その後現地に移転しています。

■ どのような患者さんが来院されますか？

近隣は日々住まれている方が多く、天川内科医院開設当初から通院されている方も多くおられます。来院される方の6～7割は75歳以上の高齢者の方です。循環器内科が専門ですので循環器疾患の方が多く来院されますが、それ以外にも様々な症状の方が来院されます。何でも相談できる医院を目標にしています。

■ 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

問診と診察、限られた検査で正確な診断・治療を行う必要があり、丁寧な問診・診察を心がけています。また必要があれば、病院に検査を依頼したり専門医への紹介を迅速に行うようにしています。専門外の疾患についてもできる限り多くの知識を持って診療に役立てるようにしています。

■ ひとこと

丁寧な診察をする事と、待ち時間を短くする事をなかなか両立させられないのが悩みですが、「困ったときはとりあえずはあそこに相談してみよう」と思ってもらえる医院を目指しています。また平常心を保ち、集中して診療することを心がけています。

information

- 神戸市東灘区甲南町 3 丁目 8 - 17
- TEL : 078-453-1228
- 診療科：内科・循環器科・呼吸器科
- 休診日：木曜日・土曜午後・日曜・祝日
- 診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	×	○	○
16:00～19:00	○	○	○	×	○	×

※ 受付終了は、診察終了30分前です。

